

加東市まちづくり活動費補助金を活用した

# まちづくり活動成果集

〔令和3年度〕



加東市マスコット 加東伝の助

加東市 市民協働部 人権協働課

## はじめに

少子高齢化や人口減少社会の進行、ライフスタイルや価値観の多様化、地域コミュニティの希薄化など、地域社会を取り巻く環境が変化する中、まちづくりには、行政だけでなく市民や地域、団体、事業者など多様な主体との『協働』が不可欠となっています。

また、将来にわたって活力のあふれるまちにしていくためには、まちづくりの主役となる「人」が、ふるさと加東への愛着や誇りとともに、夢や希望をもって、それぞれの個性を活かしながら活躍し、地域と共に元気であり続けることが重要です。

加東市では、市民の皆さまが取り組まれるまちづくり活動に対して「まちづくり活動費補助金」を交付し、その活動を支援しています。この冊子は、令和3年度にこの補助金を活用された団体の活動をまとめたものです。ふるさと加東への思いや取組、その活動を通して見えてくる課題などから、協働のまちづくりの大切さを認識していただき、市民や地域、団体、行政などのそれぞれの役割について考えるきっかけにいただければ幸いです。

## 目次

【一般コース】	
・ 下滝野地区	1
【スタート応援コース】	
・ ふるやの森文庫	2
【テーマ解決コース】	
・ @Future(アットフューチャー)	3
・ 地域の活性化推進研究会	4
・ 千燈会実行委員会	5
・ KATO 発見実行委員会	6
・ 社高等学校生活科学科もち麦班	8
・ 社高等学校生活科学科観光班	10
(参考) 令和3年度加東市まちづくり活動費補助金(応募活動分)募集要領	12

団体名	下滝野地区
代表者氏名	阿江 孝仁
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 神戸新聞特集記事「知られざる空襲、加東・下滝野」記録集の作成</p> <p><u>1. 内容</u> 神戸新聞北播版に「知られざる空襲～昭和20年7月24日、加東・下滝野～」のタイトルで令和3年7月21日から10月24日にかけて、20の記事が掲載されました。戦後75年を経て明らかとなった下滝野空襲の記録を末永くとどめたく記録集を作成しました。</p> <p><u>2. 目的</u> この記録集をもって、永く引き継いだ地域のコミュニティの推進に活用します。 また、滝野中学校の所在地区、数年後には小中一貫校が所在する地域として、児童や生徒に平和学習等の教材として活用していただきます。</p> <p><u>3. 場所</u> 加東市下滝野地内</p> <p><u>4. 期間</u> 令和3年12月1日～令和4年3月31日</p> 
	活動の効果・今後の取り組み



団体名	@Future (アットフューチャー)
代表者氏名	丸山 聖平
	<p>活動テーマ・行事名 そこが知りたい加東の歴史「加東義経伝説」</p> <p><u>1. 内 容</u> 著名な歴史家（田辺真人氏）の講演会とこれに合わせたツアーを実施し、加東市に残る「源平合戦」の歴史を深めました。</p> <p>活 市民の皆さんはもちろん近隣、京阪神、東播磨沿岸地域からの参加を募り、加東市 動 ファンを増やしました。</p> <p><u>2. 目 的</u> 加東市を「好き」になることは、加東市を「知る」ことからはじまります。 市民内外の多くの皆さんに加東の魅力を知っていただく機会を提供します。</p> <p><u>3. 場 所</u> 加東市内（やしろ国際学習塾、国宝朝光寺、道の駅とうじょう など）</p> <p><u>4. 期 間</u> 実施日 令和3年12月18日（土）</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 講演のみ参加者 100人 ツアー参加者 70人</p> 
活動の効果今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> 多くの歴史愛好家の方々に参加いただき、交流人口の増となりました。また、これからの事業の協力者としての交流も深まっています。 また、ツアー参加者には、市内観光や市内での昼食、道の駅でのお買い物など地域の消費活動を通じた活性化が図れました。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> ・ 加東に残る義経伝説や歴史・文化をテーマとした講演会と観光地散策をセットにしたツアーを企画し、新たなテーマでの誘客を図ります。 今回は、コロナ禍の中にあっても多くの参加者が得られ、また生涯学習のメンバーの協力も得られるなど成果が得られました。さらに仲間を増やしながら、活動資金などについても工夫を行いながら工面いたします。</p>

団体名	地域の活性化推進研究会
代表者氏名	長谷川 妙子
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 加東の新しい観光「フットパスツーリズム」を楽しむ</p> <p><u>1. 内 容</u> 加東市では、ARを使ったまち歩きなど「フットパス」による新たな取り組みが行われています。この加東の新しい観光「フットパスツーリズム」とSDGsをテーマとした、加東市にお越しいただく、日帰り観光ツアーを開催しました。</p> <p><u>2. 目 的</u> ツアー参加者に加東市の魅力（観る、食べる、学ぶ、遊ぶ、買う）を伝えました。そして「加東市」のファンになっていただきました。これにより、交流人口の増、加東市の知名度アップを図りました。</p> <p><u>3. 場 所</u> 加東アート館、パナソニックエコテクノロジーセンター、道の駅とうじょう など</p> <p><u>4. 期 間</u> 令和3年12月3日（金）、12月7日（火）</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 52人</p> 
	活動の効果・今後の取り組み

団体名	千燈会実行委員会
代表者氏名	藤原 加奈美
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 鴨川地域で燈籠に灯りを灯すイベント</p> <p><u>1. 内容</u> 加東市の女性たちが中心となって燈籠に灯りを灯すイベント。 近隣の特産品を使い、燈籠に灯りを灯した。</p> <p><u>2. 目的</u> イベントを通じて多くの人に加東市を知ってもらい、地域活性化につなげていく。</p> <p><u>3. 場所</u> やしろ鴨川の郷（加東市上鴨川）</p> <p><u>4. 期間</u> 令和3年12月11日(土) 17時～19時</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 500人</p> 
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> イベントを通じて加東市を知ってもらえた。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> 加東市の魅力を知ってもらい加東市に再度来訪してもらえるよう他市・他府県にも千燈会を広め、知ってもらう。 また、今後、参加費を徴収できるイベントを同時開催する。</p>

団 体 名	KATO 発見実行委員会
代表者氏名	黒田 正憲
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 KATOに住もう・KATOを見つけよう（便利な田舎へ(加東)移住計画）
	<u>1. 内 容</u> 移住を考えている方、加東市出身だが他市に住んでいる方などに加東市の良さを認識してもらう為に、リモートイベントを行う。加東市の紹介（買い物・交通の便・学校・病院等生活に根ざしたもの）などの動画を作成し、既移住者の方や、他市から結婚などで加東市に住むようになった方に意見などを伺うイベントを開催する。 令和3年7月9日 第1回実行委員会 令和3年8月20日 第2回実行委員会 令和3年9月10日 第3回実行委員会 令和3年10月15日 第4回実行委員会 令和3年10月24日 移住促進イベント開催 zoom リモート 令和3年12月17日 第5回実行委員会（反省会）
	<u>2. 目 的</u> 加東市の良さを知って頂くと共に、移住を考えている方に加東市という選択肢が有ることを知って頂く。近郊の神戸市の方ですら加東市を知らない方がたくさんおられる現状をふまえ、移住を考えておられる方は勿論のこと、移住は考えていない方でも加東市という良い街が有ることを知って頂く。
	<u>3. 場 所</u> Catalyst～語り里～ゆらの リモートイベント（zoom 開催）と、YouTube でアップし今後も継続してご覧いただけるようにする。
	<u>4. 期 間</u> 令和3年7月1日～令和4年1月31日
	<u>5. 参加者数（来場者数）</u> スタッフ：8名（+ゲスト3名） 来場者(zoom 参加者)：15名

## 1. 活動により生まれた効果

活動の効果が  
・  
今後

京阪神の駅に配布される、フリーマガジンに掲載したので、5名ほど問合せがあり、加東市ってどこに有るのですか?と言った質問から、空き家の問合せまでありました。当日の参加は無理ですが、YouTubeで見ますとのお声もいただきました。便利な田舎と言うキーワードは移住を考えておられる方にかなり響いたものと思います。

## 2. 今後の取り組み予定

の取  
り組  
み

今後も移住希望者のための YouTube など発信し、社商店連合会とも協力しながら空き家対策も含めて行っていこうと思います。  
活動資金は、空き家の紹介や、内装工事などの紹介料を頂く形で活動が行えるだけの金額を生みだしたいと思います。



団 体 名	社高等学校生活科学科もち麦班
代表者氏名	若浦 直樹
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 加東市産の農作物を活用した地域活性化
	1. 内 容 加東市内外の農家や飲食店、企業等と連携し、もち麦をはじめとした加東市産の農作物のPR活動を行う。 またPR活動の一環として、レシピ集作成や商品開発、加東市産もち麦料理コンテストの応募を行う。 地域経済分析システムRESASを活用して加東市の現状分析を行った上で、加東市内の課題と解決策を模索する。
	2. 目 的 加東市の交流人口増加と知名度アップを目的とする。 もち麦をはじめ加東市や北播磨地域の農作物を活用した活動を展開することで地域活性化を目指す。
	3. 場 所 県立社高等学校 やしろショッピングパーク Bio 県立嬉野台生涯教育センター やしろの森公園 加古川ヤマトヤシキ 加東市地域交流センター
	4. 期 間 令和3年4月～令和4年3月
5. 参加者数（来場者数）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月9日 スープで食べるもち麦 和だしカレー味 販売会 250名</li> <li>・11月27日 第10回 ご当地！絶品うまいもん甲子園 6000名（視聴者数）</li> <li>・12月1日 近畿経済産業局長賞表彰式 100名</li> <li>・12月18日 もち麦フェス（勝とう丼・もち麦スープ販売、特産品を活用した焼き菓子販売） 500名</li> <li>・12月18日 加古川ヤマトヤシキ 200名</li> <li>・1月22日 県立社高等学校3科合同課題研究発表会（生活科学科地域連携事業報告） 100名</li> <li>・3月20日 フードデザイン工房 Seica 150名</li> </ul>

活動の効果・今後の取り組み

### 1. 活動により生まれた効果

株式会社マルヤナギ小倉屋と連携した商品開発をはじめ、バスツアーで提供する食事にも、もち麦粉を使った料理を提供した。活動の中で考案した政策アイデアを内閣府が主催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募したところ、地方予選において近畿経済産業局長賞を受賞することができた。また、地元の食材を活用したメニューを考案し、調理とプレゼンを行う「第10回 ご当地！絶品 うまいもん甲子園」にも挑戦した。加東市産のもち麦粉を活用した「ねぎもちっとホットク」というレシピを考案し、全国大会に出場し企業賞を受賞することで、もち麦のPRにつなげることができた。

### 2. 今後の取り組み予定

もち麦普及活動を継続する中で加東市内の認知度は上がってきているが、市外ではやや盛り上がり欠ける印象を受ける。今後は、健康や福祉といった分野とも連携し、活性化に向けた新たな活動を取り入れていきたい。



団 体 名	社高等学校生活科学科観光班
代表者氏名	若浦 直樹
活 動 内 容	<p>活動テーマ・行事名 『食』を活用した観光資源開発</p> <p><u>1. 内 容</u> 加東市内にある魅力的な観光地や特産品を「食」を通して知ってもらおうツアーを企画する。 また、まちの観光地や特産品をPRするWeb動画を製作するなど、コロナ禍でもできる地域活性化活動を行う。 地域経済分析システムRESASを使用して加東市の現状分析を行った上で、加東市内の課題と解決策を模索する。</p> <p><u>2. 目 的</u> コロナ禍でも加東市が魅力あるまちだと認知されることを目的とする。 未来を担う高校生たちが積極的に参加することで元気なまちであり続けることを目指す。</p> <p><u>3. 場 所</u> 県立社高等学校 やしろショッピングパーク Bio ホテルグリーンプラザ東条湖 播磨中央公園 加古川ヤマトヤシキ 加東市内各所（山の芋農園、やしろの森公園、県立嬉野台生涯教育センター、鴨川の郷、ふじいでんこう さいくるらんど、播州清水寺、加東アート館、道の駅「とうじょう」）</p> <p><u>4. 期 間</u> 令和3年4月～令和4年3月</p> <p><u>5. 参加者数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月30日、7月31日 加古川ヤマトヤシキ 300名</li> <li>・11月20日、11月21日 加東市の魅力発見バスツアー 16名</li> <li>・12月18日 もち麦フェス（もち麦うどん打ち体験、もち麦巻き寿司作り体験） 500名</li> <li>・1月22日 県立社高等学校3科合同課題研究発表会 （生活科学科地域連携事業報告） 100名</li> <li>・1月28日 フードデザイン工房 Seica 150名</li> <li>・3月26日、3月27日 加古川ヤマトヤシキ 250名</li> </ul>

活動の効果・今後の取り組み

1. 活動により生まれた効果

コロナ禍における観光客数の減少や外出制限によるストレス増に着目し、加東市の魅力を発信しつつコロナ禍でも安心して参加できる1泊2日の体験型バスツアーを加東市観光協会や神戸新聞旅行社の協力のもと、実施した。人が生きるうえで欠かすことのできない「農」と「食」を中心とした本ツアーでは、加東市の名所や特産品を活用することで、今後につながる新たな観光資源を開発することができた。本活動は地域経済分析システム RESAS を使って加東市の課題を発見し、その課題を分析・解決するための政策アイデアの一環として実施した。

2. 今後の取り組み予定

バスツアーといった観光事業を中心に加東市の魅力 PR を行ってきたが、ツアーに続くような観光資源開発には至っていない。今後は、バスツアー以外の観光資源開発も行い、交流人口の増加につなげていきたい。

**もの作り体験**  
勤労感謝の日になんて心のごもったプレゼント制作体験プレゼントの中身は秘密だよ  
or  
大人の方は糖のほり染色体験

**Seica**  
2日目朝食後のデザートは私達が作った生菓子焼き菓子販売もあります

**食体験**  
どんぐりのピザ窯で作るもち麦粉を使ったピザ出来立てを召し上げ

**農体験**  
加東市特産山の手掘り蕎麦をいただきます

**もの作り体験**  
アト製作用染色体験

**1日目 11/20**  
集合 神戸駅 9:00  
宿泊 ホテル グリーンプラザ 東条  
山の手収穫  
昼食 ピザ作り やしろの森  
もの作り体験 アト製作用染色体験

**2日目 11/21**  
お楽しみも大人も楽しめるプランです

**体験・見学**  
サイクルランド or 神結西造  
見学 加東アート館  
昼食 東条バーガー 焼き菓子販売  
買い物 道の駅とうじょう  
解散 神戸駅

コロナ禍の疲れを加東で癒しましょう

●旅行日 **11/20(土)~21(日)**  
●旅行代金(おひとり・税込) **大人 15,000円** 小人 **5,000円**  
1泊2日 自然たっぷり

なぜ高校生がバスツアーを？  
私たち高校生活科学科3年地方創生班は地域の活性化に関する研究をしています。その活動の一環として加東市の魅力を体験してもらったバスツアーを企画しました。ぜひ、ご参加ください！

神戸新聞旅行社 078-362-7174 079-285-3855  
http://www.kpt.jp

令和3年度加東市まちづくり活動（応募活動分） 募集要領

1 目的

市民の皆さまが「自ら考え、行う」活動を支援することにより、より良い活動の創出を促し、地域の活性化、市民と行政の協働のまちづくりに寄与することを目的とします。

2 補助メニュー

次の4コースから1コース選択し、応募してください。（応募できるのは、1コースのみです。）

コース	一般コース	スタート応援コース	テーマ解決コース	コロナに負けない元気なまちづくりコース
対象活動	市内で行う、市の歴史や自然、産業、文化等の啓発、伝承を促進する活動または地域コミュニティの推進に関する活動で、 <b>地域の活性化が図られる広域的なもの</b> を対象とします。		<b>市が定めたテーマに基づいて行う活動のうち地域の活性化が図られる広域的なもの</b> を対象とします。	新型コロナウイルス感染症による影響を受けた市民を元気づけ、地域の活性化が図られる活動を対象とします。
補助率	対象経費の <b>60%</b>	対象経費の <b>100%</b> (3年目は <b>80%</b> )	対象経費の <b>100%</b>	対象経費の <b>100%</b>
補助上限額 (予算の範囲内)	<b>200,000円</b>		<b>300,000円</b>	<b>200,000円</b>
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動は、令和3年度中（令和4年3月まで）に完了するものとします。</li> <li>○慣例的な活動や団体の内部にとどまる活動などは対象外とします。</li> <li>○営利目的、反社会的、政治または宗教を普及する活動は対象外とします。</li> <li>○国・県・市などから補助を受ける活動は対象外とします。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同一団体による同一内容の活動は、連続した2年間までとします。</li> <li>※ただし、学校（小・中・高等学校等）を単位とする団体については、構成員（生徒）が毎年異なると考えられるため、同一団体とはみなしません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○採択された活動は、連続した3年間補助します。</li> <li>※2年目以降も審査があります。3年目は、補助金額を対象経費の80%とします。</li> <li>○1年目は単一自治会内での活動を認めますが、2年目以降は範囲を自治会外までの拡大を条件とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同一団体による同一内容の活動は、連続した2年間までとします。</li> <li>※ただし、学校（小・中・高等学校等）を単位とする団体については、構成員（生徒）が毎年異なると考えられるため、同一団体とはみなしません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単なる物品の配布・寄贈は対象となりません。</li> <li>○補助期間は1年のみとなります。</li> </ul>

## **テーマ解決コースで定めるテーマ**

テーマ解決コースは、以下に示す①から③のテーマについて、現状と目指す状態・将来像を踏まえて行う活動を対象とします。

### **①人口の維持・増加または交流人口の増加・加東市の知名度アップにつながる活動**

#### **【現状】**

加東市においても、将来は人口減少・少子化が予想され、その対策が必要になっています。また、市内には、地域の名所や歴史的な遺産、貴重な観光資源などが数多くあり、それらを有効活用するためには、さらなる魅力発信やPRを行う必要があります。

#### **【目指す状態・将来像】**

市外からの定住・移住を促す取組を通して、人口の維持・増加を目指します。また、市内の名所や歴史遺産、観光資源などを有効活用することで、市外から人を呼び込み、交流人口の増加と加東市の知名度アップを目指します。

#### **【活動例】**

- ・市外の方を対象とした市民農園体験や就農体験
- ・加東市の歴史・名所などの魅力を紹介するツアーの実施 など

### **②男女共同参画や女性活躍の推進につながる活動**

#### **【現状】**

少子高齢化の進展や人口減少が進む中で、社会の多様性と活力を高めるために、男女共同参画社会の実現が課題になっています。

#### **【目指す状態・将来像】**

男女共同参画を推進することで、性別に関係なく誰もがその個性と能力を發揮できる、豊かで活力ある社会の実現を図ります。

#### **【活動例】**

- ・女性の起業支援など女性活躍を推進する事業
- ・男性料理教室など男性の家事参加の促進を目的とした事業 など

### **③国際交流や多文化共生の実現につながる活動**

#### **【現状】**

在住外国人が増加していることから、市民や地域の共生意識の高揚を図るとともに日常生活などをサポートする多文化共生社会づくりのより一層の推進が求められています。

#### **【目指す状態・将来像】**

在住外国人への日本語教育支援や生活情報の提供などの生活支援を通して社会参加を促進することで、市民や地域の共生意識を醸成し、多文化共生社会の構築を図ります。

#### **【活動例】**

- ・在住外国人やその子どもを対象とした日本語教室
- ・外国語に対応した加東市に関するガイドブックや観光マップなどの作成 など

## コロナに負けない元気なまちづくりコース

### 【現状】

令和2年1月以降、国内で感染拡大を続けている新型コロナウイルス感染症は、地域コミュニティ活動に多大な影響を与えています。一方でオンライン交流会をはじめとした全く新しいコミュニケーションが生まれ、アフターコロナにおいて、「新しい生活様式」の視点を取り入れた柔軟性にとんだ活動が求められています。

### 【目指す状態・将来像】

このような時だからこそ、市民の皆様が考え、行う活動を行政が応援するという協働の形を推進し、多くの市民による継続したまちづくりへの参画を目指します。

### 【活動例】

- ・地域コミュニティ活動のオンライン化を進めるための講習会の開催
- ・地元の住民の読み聞かせの動画配信による、地域昔話の次世代伝承 など

## 3 対象団体

市内に活動拠点をもつ団体で、その代表者と構成員の半数以上が加東市民であるものを対象とします。ただし、スタート応援コースは、設立後3年以内の団体に限ります。

## 4 補助対象経費

<補助対象となる支出>	<補助対象とならない支出>
(1) 会議費（打合せ会等） (2) 会場使用料 (3) 消耗品費（用紙代、文房具代） (4) 印刷製本費（チラシの作成・印刷等） (5) 食糧費 ※上限あり (6) 材料費（調理を行う際の食材等） (7) 賞品代 ※上限あり (8) 備品代 ※上限あり (9) 謝礼（講師、出演者に対するもの） (10) その他必要な経費	(1) 土地や建物（完成品）の購入費 (2) 酒類の代金 (3) スタッフへの手当てなど、報酬として支出するもの

※経費が対象となるかどうか迷う場合は、市民協働部人権協働課までお問い合わせください。

### ○上限について

- (5) 食糧費 補助金希望額の3分の1以下（単価850円まで）
- (7) 賞品代 補助金希望額の2分の1以下（単価300円まで）
- (8) 備品代 上限20,000円（ただし、スタート応援コースは、上限50,000円とします。）
- (10) その他 委託費は、補助金希望額の2分の1以下とします。